

2018年3月期 決算説明資料

1 2018年3月期 連結業績の概要 P. 2

2 2018年3月期 連結業績の詳細 P. 6

3 長期ビジョン2028 P. 21

4 2020中期経営計画 P. 26

5 2019年3月期 連結業績予想 P. 46

2018年3月期

1

連結業績の概要

1)連結業績概要

…P. 3

2)売上高の変動要因

…P. 4

3)営業利益の変動要因

…P. 5

売上高

すべてのセグメントでの販売が拡大し、前期に比べ増収。

営業利益

金融市場でのプロダクトミックスの悪化等により、前期に比べ減益。

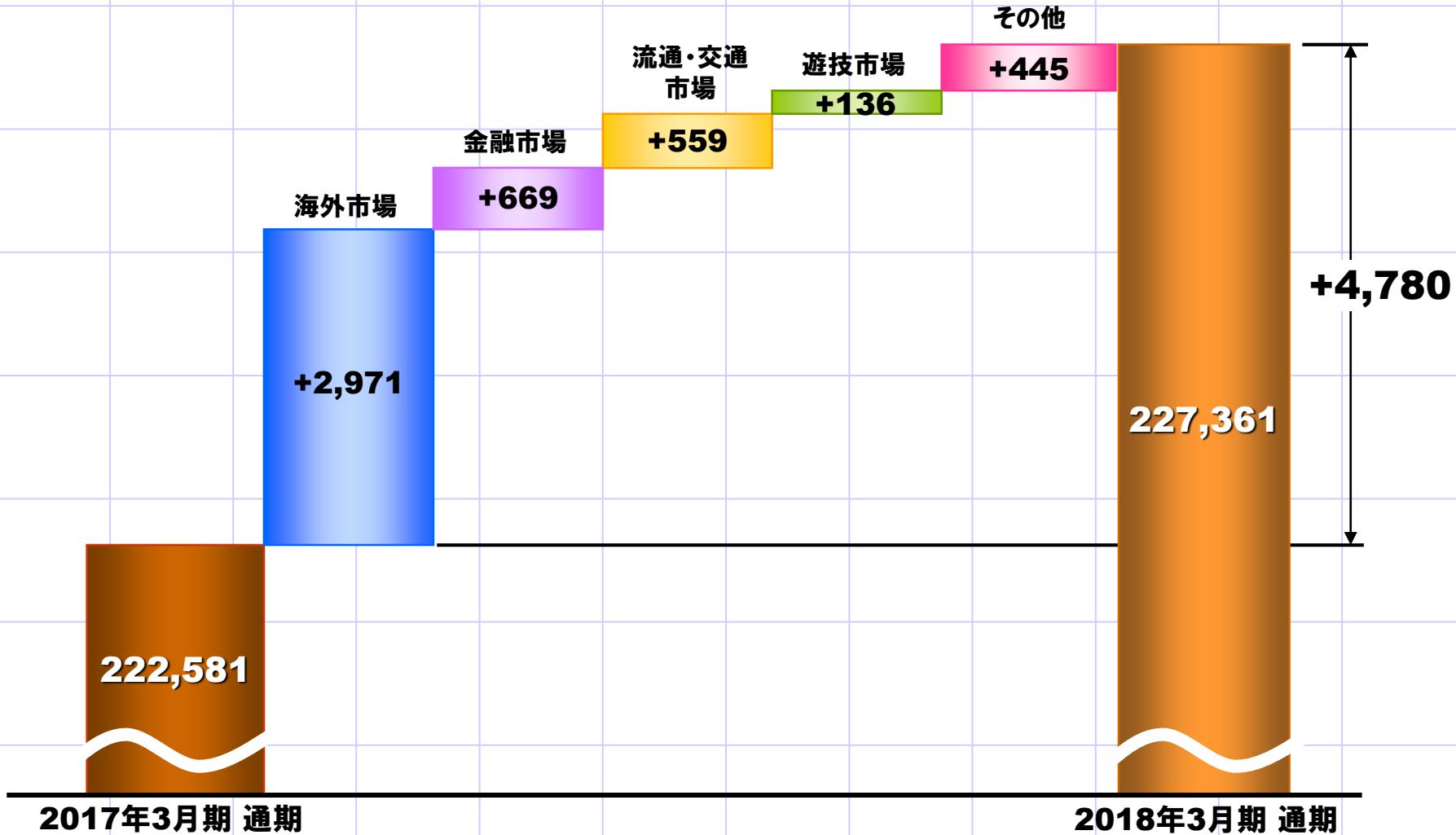
(百万円)	2017年3月期		2018年3月期		前期比
	通期	売上高比率	通期	売上高比率	
売上高	222,581	100.0%	227,361	100.0%	+2.1%
保守売上高	63,921	28.7%	67,677	29.8%	+5.9%
営業利益	20,365	9.1%	19,615	8.6%	-3.7%
経常利益	17,205	7.7%	17,553	7.7%	+2.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,382	4.7%	9,892	4.4%	-4.7%
EBITDA	33,906	15.2%	32,987	14.5%	-2.7%

為替 レート	ドル	108 円	111 円
	ユーロ	119 円	130 円

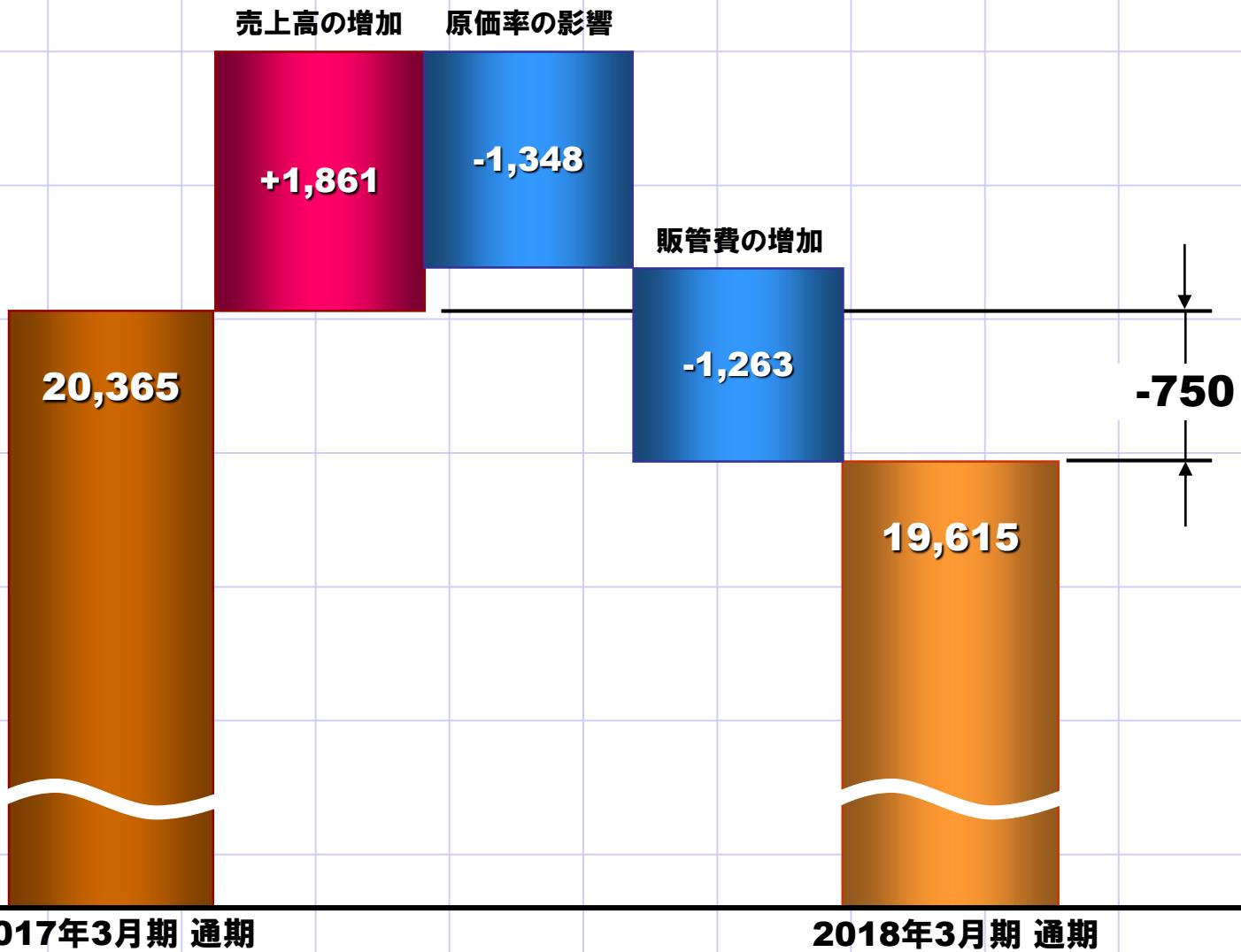
為替の影響を除いた場合の前期比	売上高	約 +22 億円
	営業利益	約 -24 億円

売上高の変動要因（セグメント別）

単位:百万円



単位:百万円



2018年3月期

2

連結業績の詳細

- 1)セグメント別売上高・営業利益 …P. 7
- 2)設備投資他 …P. 16
- 3)損益計算書・包括利益計算書 …P. 17
- 4)貸借対照表 …P. 18
- 5)キャッシュ・フロー計算書 …P. 19
- 6)2018年3月期の配当について …P. 20

(百万円)	売上高			営業利益			前期比	
	2017年3月期	2018年3月期	前期比	2017年3月期	2018年3月期	前期比		
	通期	通期		通期	通期			
■ 海外市場	103,787	106,758	+2,971 +2.9 %	9,900	11,167	+1,267 +12.8 %		
■ 金融市場	53,301	53,970	+669 +1.3 %	6,510	4,043	-2,467 -37.9 %		
■ 流通・交通市場	42,657	43,216	+559 +1.3 %	3,468	3,476	+8 +0.2 %		
■ 遊技市場	20,434	20,570	+136 +0.7 %	737	1,331	+594 +80.6 %		
■ その他	2,400	2,845	+445 +18.5 %	-251	-403	-152 - %		
合 計	222,581	227,361	+4,780 +2.1 %	20,365	19,615	-750 -3.7 %		

欧米での主要製品の販売は好調

単位:百万円

業績のポイント

金融市场向け

紙幣入出金機

→ 米国で販売増

売上高

2017年3月期
通期

103,787

2018年3月期
通期

106,758

前期比

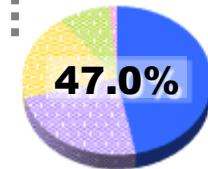
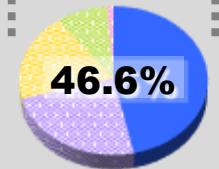
+2,971
+2.9 %

流通市場向け

紙幣硬貨入出金機

→ 欧州で販売増

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、
OEM先等への販売・保守構成
比率

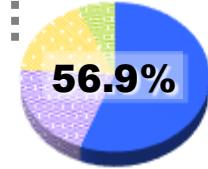
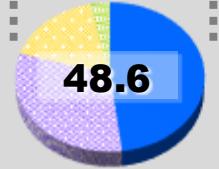
+0.4 pt

主要製品

紙幣入出金機
RBGシリーズ紙幣整理機
UWシリーズ紙幣硬貨入出金機
CI-100シリーズ営業
利益

9,900

11,167

+1,267
+12.8 %構成
比率

+8.3 pt

営業
利益率

9.5%

10.5%

+1.0 pt

(百万円)	2017年3月期	2018年3月期	前期比	現地通貨ベース
	通期			
米州	40,230	39,008	-1,222 -3.0 %	-5.2%
欧州	39,659	45,063	+5,404 +13.6 %	+4.2%
アジア	14,590	13,755	-835 -5.7 %	-
中国	6,437	5,912	-525 -8.2 %	-11.7%
OEM	9,306	8,930	-376 -4.0 %	-4.0%
合計	103,787	106,758	+2,971 +2.9 %	-

製品ミックスの悪化等により利益率が低下

単位:百万円

業績のポイント

- ☑ オープン出納システム
 - コンパクトタイプの販売は反動減

- ☑ 窓口用紙幣硬貨入出金機
 - 更新需要を捉え販売増

セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への販売・保守

主要製品



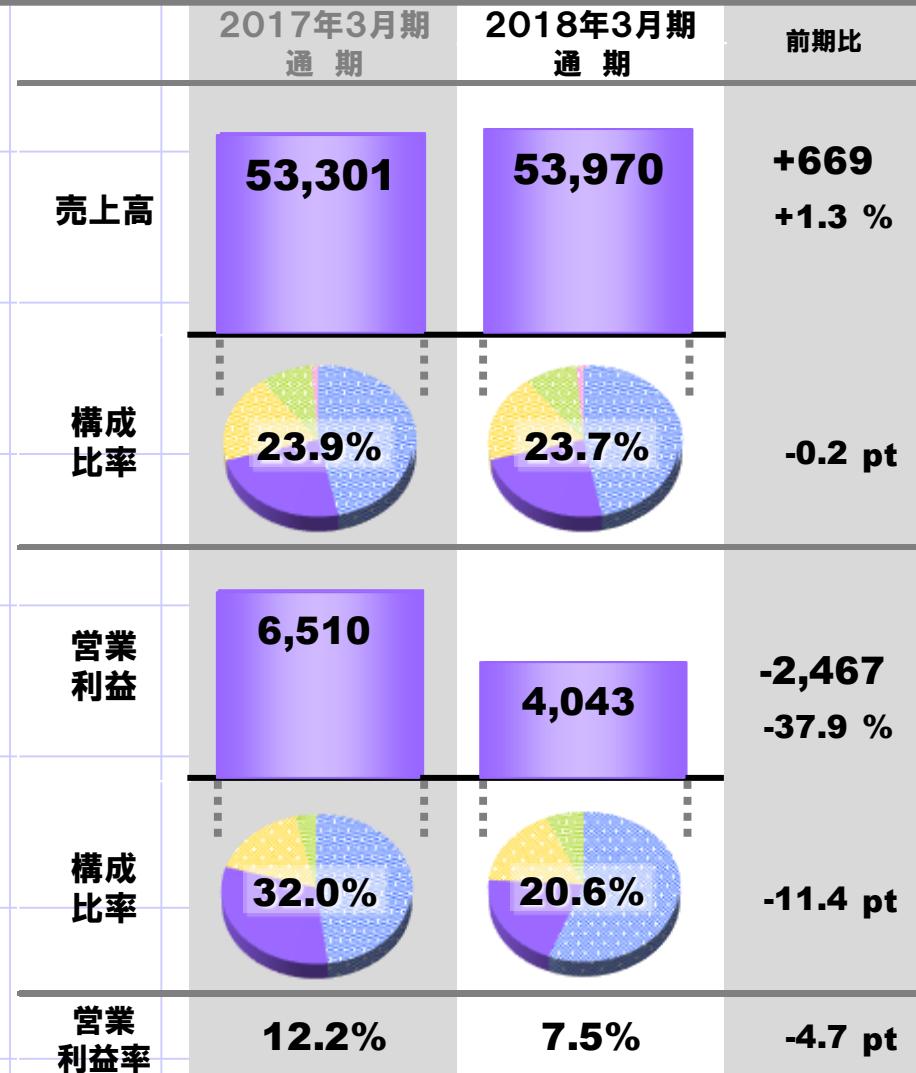
オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用
紙幣硬貨入出金機
RBシリーズ



多能式紙幣両替機
ENシリーズ



レジつり銭機の販売は前期並み

単位:百万円

業績のポイント

- レジつり銭機** → **更新需要の獲得が堅調**
- 売上金入金機** → **警輸市場向けが低調**
- 多能式両替機** → **更新需要の獲得による販売増**

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社、たばこメーカー、病院、自治体等への販売・保守

主要製品



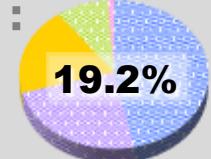
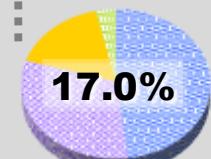
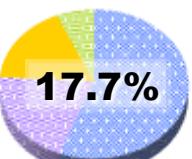
レジつり銭機
RT/RADシリーズ



売上金入金機
DSSシリーズ



小型入金機
DSシリーズ

	2017年3月期 通期	2018年3月期 通期	前期比
売上高	42,657	43,216	+559 +1.3 %
構成比率			-0.2 pt
営業利益	3,468	3,476	+8 +0.2 %
構成比率			+0.7 pt
営業利益率	8.1%	8.0%	-0.1 pt

カードシステム等の販売が低調

単位:百万円

業績のポイント

☑カードシステム

→ 1Hは更新需要を捉え販売増も
2Hに減速

セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

主要製品

カードシステム



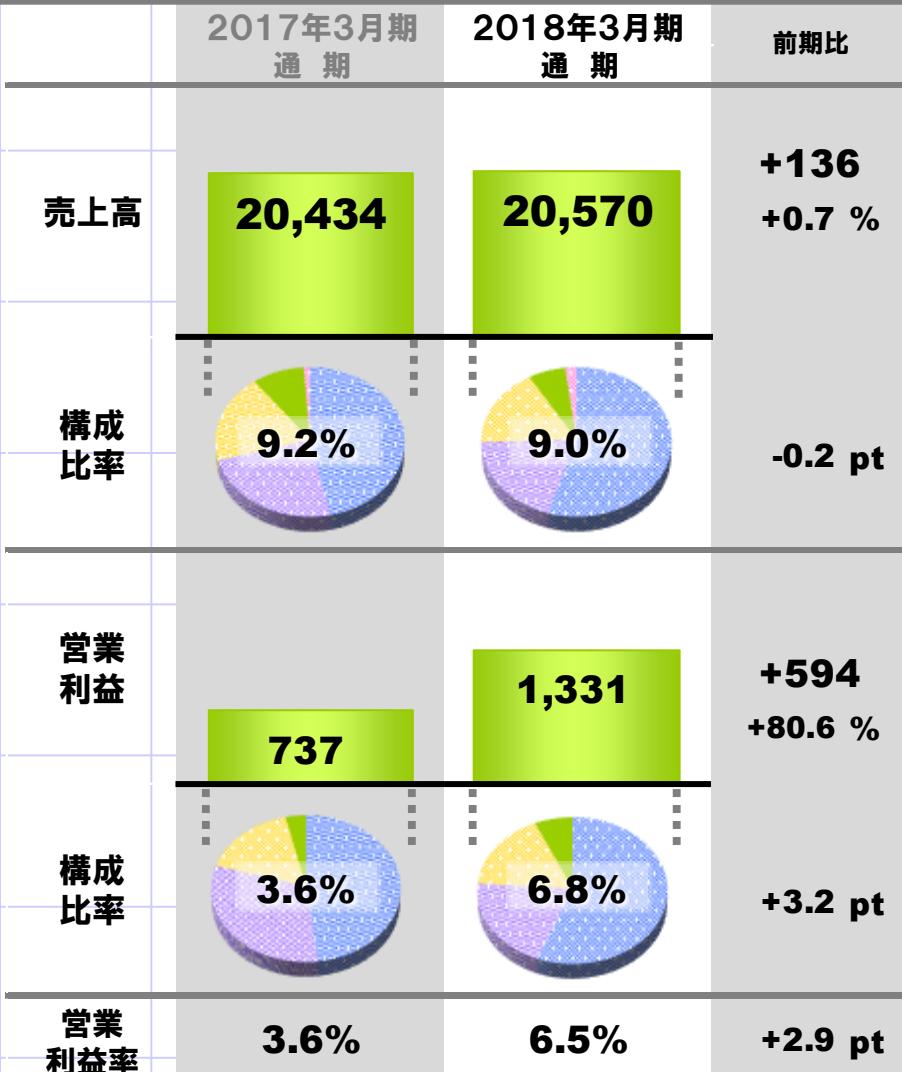
管理ターミナル



カードユニット



カード精算機

賞品保管機
JKシリーズ

主要製品の販売は堅調

単位:百万円

業績のポイント

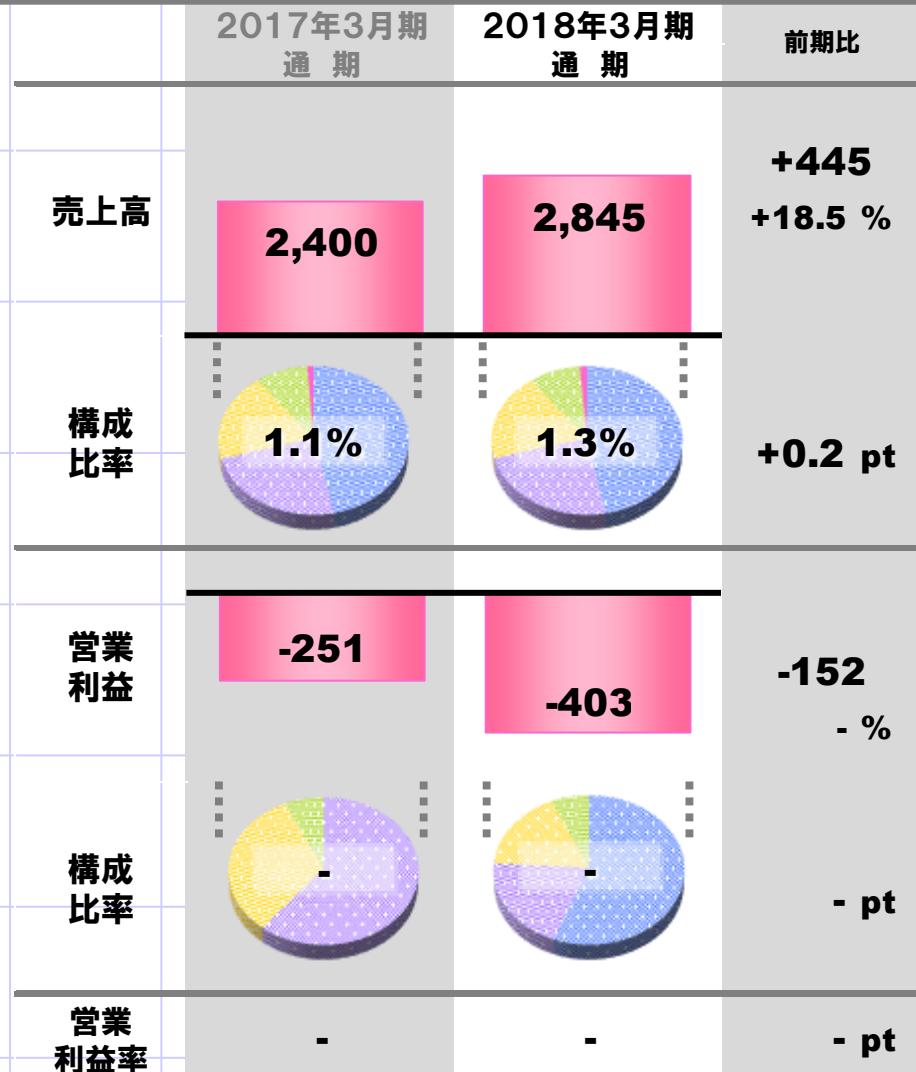
☑顔認証システム

→ 一般・商業施設向けが販売増

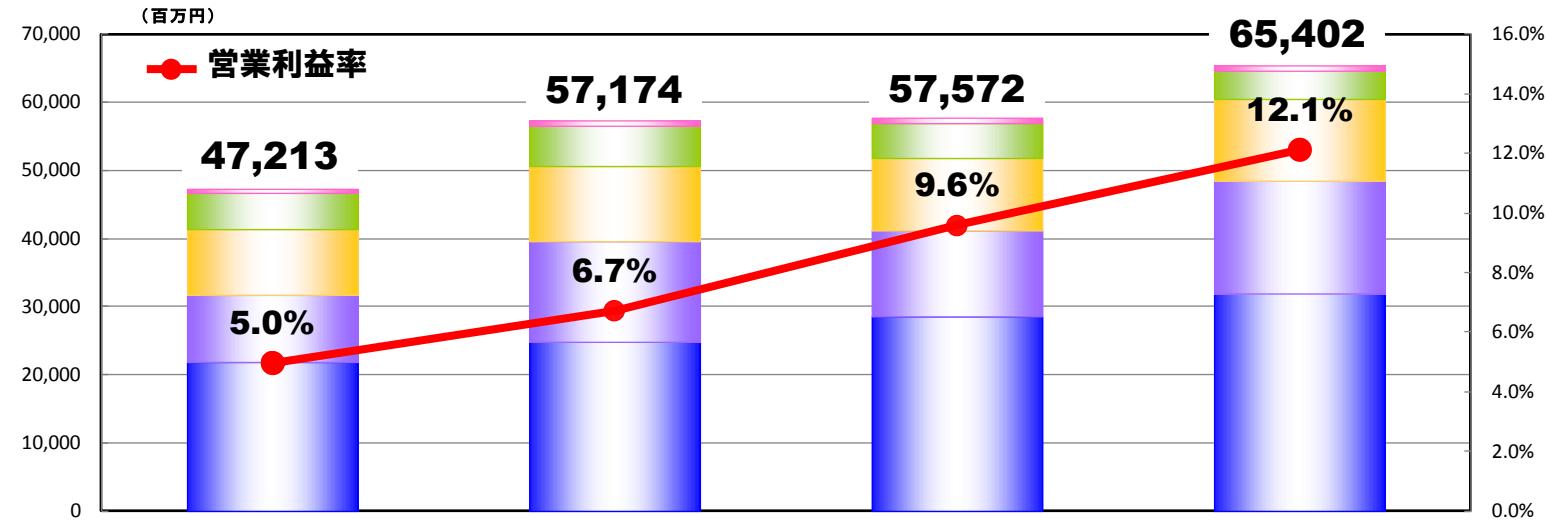
セグメントの概要

4つの報告セグメントに属さない販売・保守

主要製品

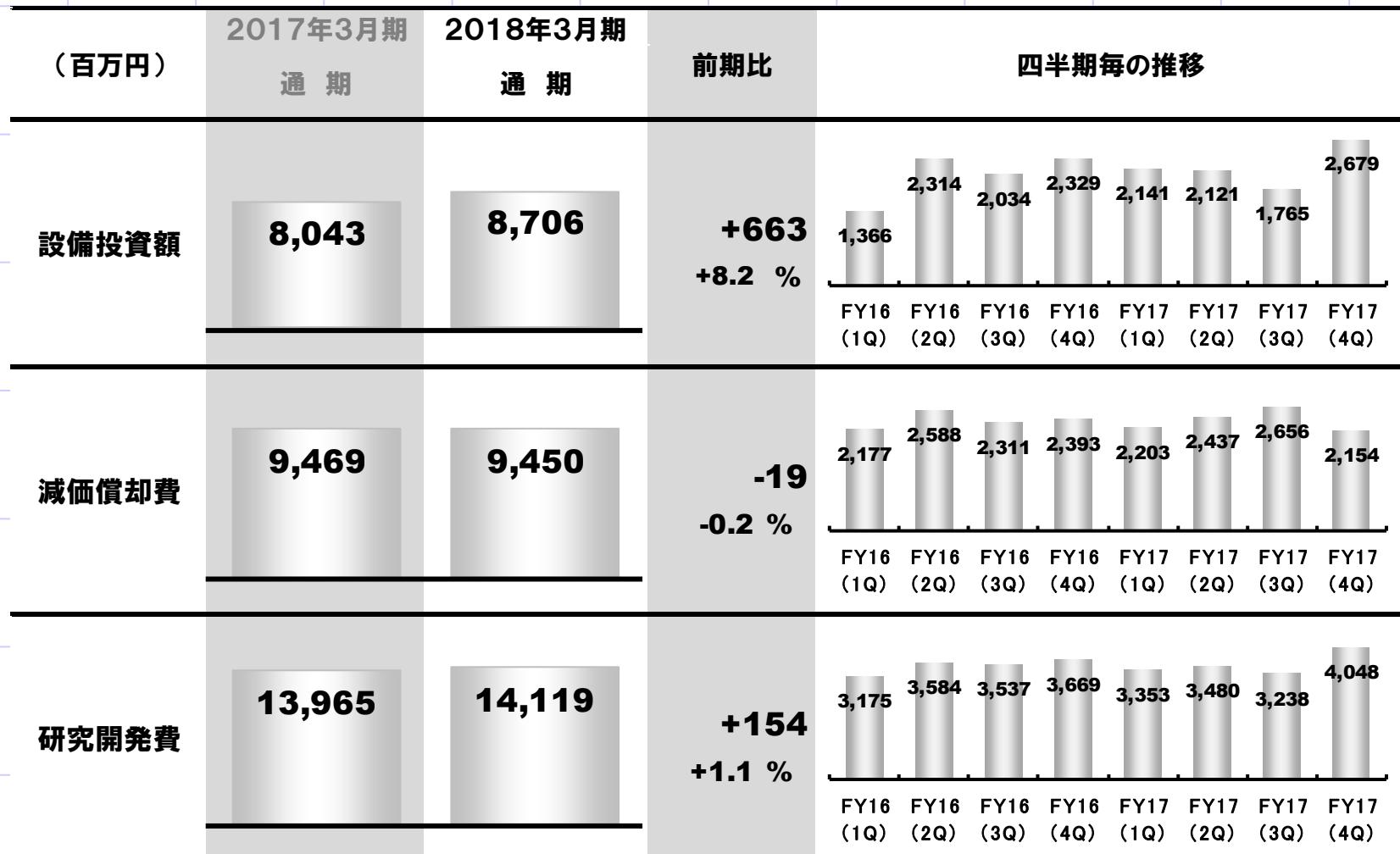


四半期毎のセグメント別売上高



（百万円）	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
海外市場	21,725	1,221	24,716	1,327	28,564	3,119	31,753	5,500
金融市場	10,015	348	14,799	1,247	12,506	865	16,650	1,583
流通・交通市場	9,607	608	11,023	939	10,680	1,124	11,906	805
遊技市場	5,319	386	5,993	437	5,094	454	4,164	54
その他	545	-218	644	-117	728	-40	928	-28
合計	47,213	2,346	57,174	3,833	57,572	5,522	65,402	7,914

(百万円)	売上高			営業利益			予想比	
	2018年3月期 通期		予想比	2018年3月期 通期		予想比		
	予想	実績		予想	実績			
海外市場	113,000	106,758	-6,242 -5.5 %	10,800	11,167	+367 +3.4 %		
金融市場	53,000	53,970	+970 +1.8 %	4,900	4,043	-857 -17.5 %		
流通・交通市場	44,000	43,216	-784 -1.8 %	4,000	3,476	-524 -13.1 %		
遊技市場	22,000	20,570	-1,430 -6.5 %	1,800	1,331	-469 -26.1 %		
その他	3,000	2,845	-155 -5.2 %	-500	-403	+97 - %		
合 計	235,000	227,361	-7,639 -3.3 %	21,000	19,615	-1,385 -6.6 %		



損益計算書・包括利益計算書

(百万円)	2017年3月期		2018年3月期		増減
	通期	売上高比率	通期	売上高比率	
売上高	222,581	100.0%	227,361	100.0%	+4,780
売上原価	135,907	61.1%	140,174	61.7%	+4,267
販売費及び一般管理費	66,307	29.8%	67,570	29.7%	+1,263
営業利益	20,365	9.1%	19,615	8.6%	-750
営業外収益	1,196	0.5%	786	0.3%	-410
営業外費用	4,355	2.0%	2,848	1.3%	-1,507
経常利益	17,205	7.7%	17,553	7.7%	+348
特別利益	37	0.0%	159	0.1%	+122
特別損失	81	0.0%	174	0.1%	+93
税金等調整前当期純利益	17,161	7.7%	17,538	7.7%	+377
法人税等	5,736	2.6%	6,267	2.8%	+531
当期純利益	11,424	5.1%	11,271	5.0%	-153
親会社株主に帰属する当期純利益	10,382	4.7%	9,892	4.4%	-490

当期純利益	11,424	5.1%	11,271	5.0%	-153
その他有価証券評価差額金	586		93		-493
為替換算調整勘定	-9,970		-2,041		+7,929
退職給付に係る調整額	1,235		1,182		-53
その他の包括利益合計	-8,148	-3.7%	-765	-0.3%	+7,383
包括利益	3,275	1.5%	10,506	4.6%	+7,231

為替差損
2,124

(前期 為替差損)
3,458

為替換算
調整勘定
-2,041

貸借対照表 前期末比

(百万円)	2017年3月末	2018年3月末	増 減	(百万円)	2017年3月末	2018年3月末	増 減
現預金・有価証券	77,292	63,154	-14,138	買掛債務	18,484	20,106	+1,622
売掛債権	47,137	54,275	+7,138	短期借入金	34,445	30,751	② -3,694
棚卸し資産	46,125	51,362	+5,237	その他	39,514	40,763	+1,249
その他	10,043	11,246	+1,203	流動負債合計	92,443	91,620	-823
流動資産合計	180,597	180,037	-560	長期借入金	13,271	4,508	② -8,763
有形固定資産	35,657	34,509	-1,148	その他	15,662	14,659	-1,003
顧客関係資産	22,221	19,683	① -2,538	固定負債合計	28,933	19,167	-9,766
のれん	51,573	45,113	① -6,460	負債合計	121,377	110,787	-10,590
その他	5,649	5,978	+329	資本金	12,892	12,892	0
無形固定資産	79,443	70,774	-8,669	利益剰余金	158,504	165,380	+6,876
その他	17,121	17,631	+510	その他	20,047	13,893	-6,154
固定資産合計	132,223	122,915	-9,308	純資産合計	191,443	192,165	+722
資産合計	312,821	302,953	-9,868	負債純資産合計	312,821	302,953	-9,868
ROE	5.4%	5.3%	-0.1%				

①顧客関係資産、のれんは為替の影響があったものの順調に減少。

②有利子負債は短期、長期ともに借入金の返済が進み減少。

営業活動によるキャッシュフローの減少により、フリーキャッシュフローが減少

(百万円)	2017年3月期 通 期	2018年3月期 通 期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	30,087	14,585	-15,502
投資活動によるキャッシュフロー	-6,632	-8,609	-1,977
フリーキャッシュフロー	23,455	5,976	-17,479
財務活動によるキャッシュフロー	-10,964	-23,574	-12,610
現金及び現金同等物に係る 換算差額	-2,055	-234	+1,821
現金及び現金同等物の増減額	10,435	-17,832	-28,267
現金及び現金同等物の 期末残高	77,050	62,375	-14,675

※フリーキャッシュフロー=営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

利益配分に関する基本方針

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針とし、

連結配当性向30%以上を目標に、配当を実施することとしております。

1株当たりの配当金	第2四半期末	期末(予定)	年間(予定)
	31円	31円	20円 (創業100周年記念) 82円 (配当性向52.6%)

※期末配当、記念配当につきましては、2018年6月27日開催予定の第72回定時株主総会に付議する予定です。

配当金の推移



グローリーグループ 長期ビジョン2028

(2018年度～2027年度)



- 1) ビジョン P. 22
- 2) メガトレンド P. 23
- 3) 目指す規模感と事業ドメインの目指す姿 P. 24
- 4) ステップ毎の目指す姿 P. 25

人と社会の「新たな信頼」を創造する リーディングカンパニーへ

世界中の誰もが望む安全、安心、確実な社会。

安全でシームレスな決済手段や、
あらゆるシーンで自分自身であることを瞬時に証明する仕組みなど、
未来の社会には、「新たな信頼」が求められます。

私たちは、あくなきチャレンジ精神と、通貨処理の枠を超えた先進の技術で、
その未来を実現します。

お客様と共に「新たな信頼」を創造するリーディングカンパニーへ。

GLORYが着目すべきメガトレンド

決済手段の多様化 (現金から非現金へ)

- デジタル化の波は通貨領域にまで影響を及ぼすものの、通貨流通量は新興国を中心に今後も増加する
- 仮想通貨を始めとするFintechの市場は今後大きく拡大する

新興国を中心とした 人口増、経済発展

- 2030年にかけて中国を除くアジア、アフリカにおいて人口が増加する
- インドを始めとする新興国や中国の経済水準が急速に高まり、先進国の所得水準に近い人口が増加する

テクノロジーの進化

- AI、ロボットが進化し社会に浸透するとともに、金融機関や流通業界においても機械に代替される仕事が拡大する

安心、安全に対する 意識の拡大

- 世界におけるテロの発生件数は増加する
- 技術の進展に伴い、サイバー上のテロも急増する

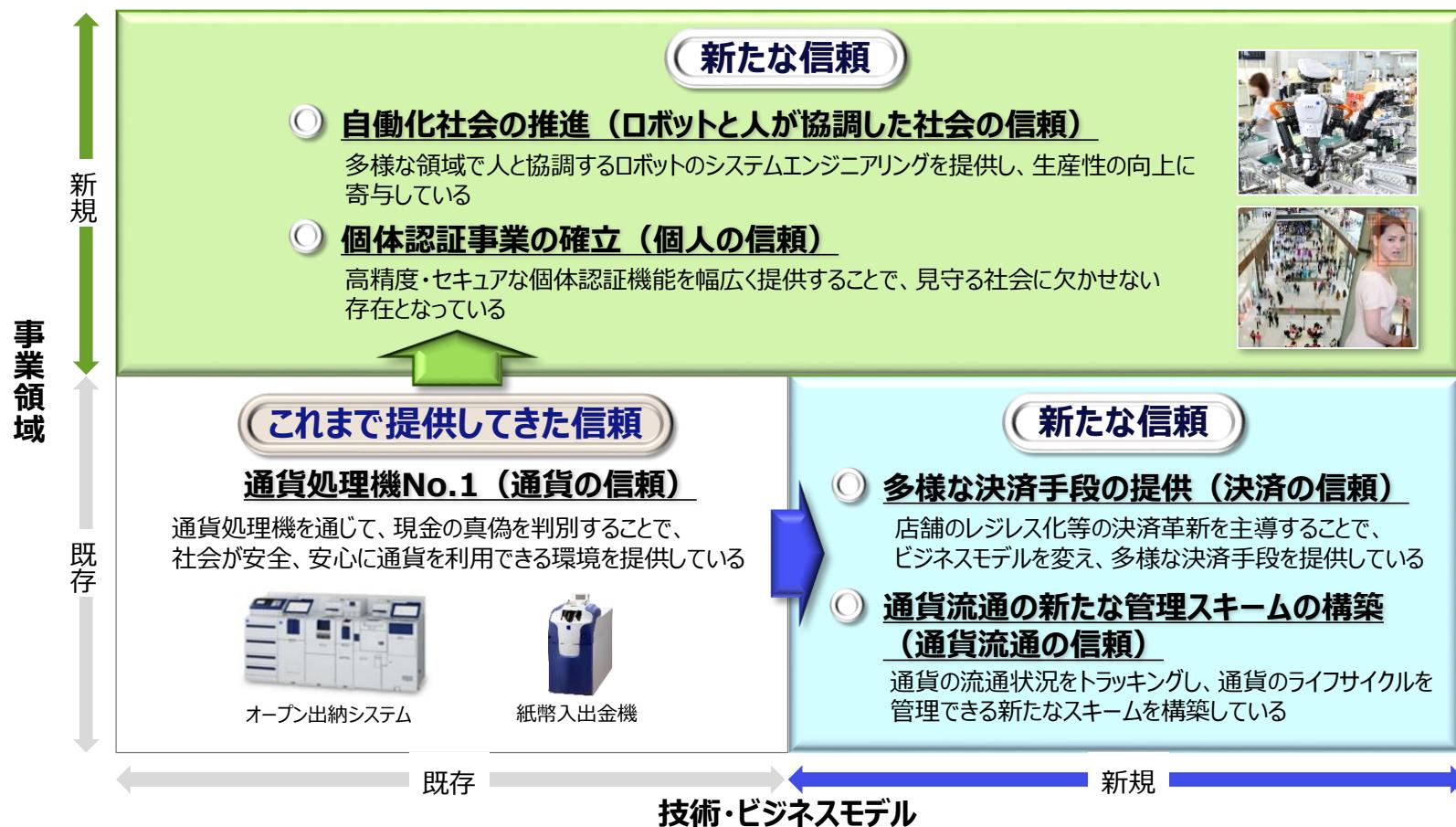
日本の高齢化・ 人口減少に伴う 課題解決先進国化

- 日本の人口は2008年をピークに減少し、2028年にはピーク時と比較して1,000万人減。2050年には総人口の約40%が65歳以上となる
- 先進国で最も高齢化が進む日本は他国に先駆けた課題解決が求められる

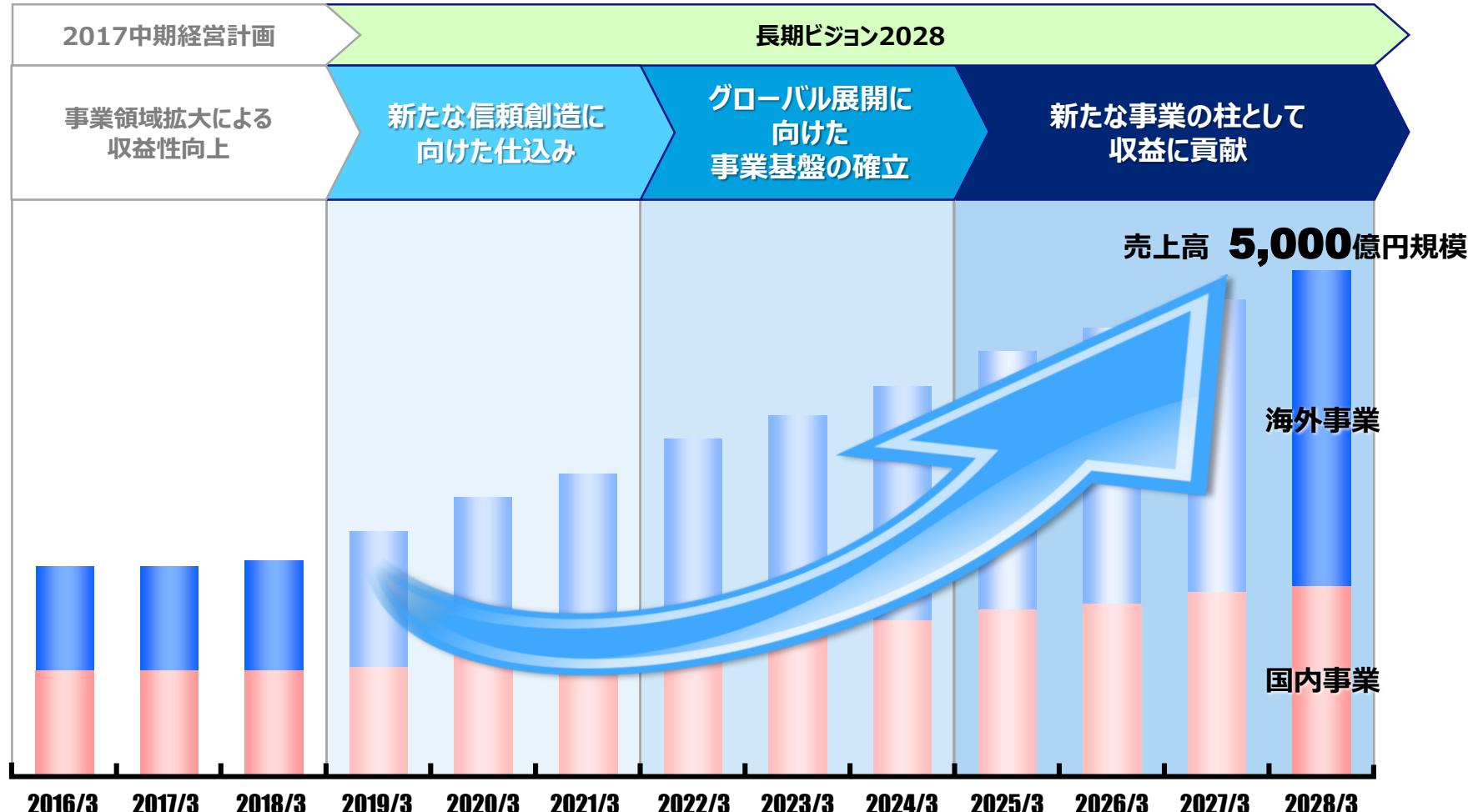
目指す規模感と事業ドメインの目指す姿

売上高 5,000億円規模 (2017年度実績: 2,273億円)

事業ドメイン 事業ドメインを拡大することにより、これまでの信頼に加え、幅広い分野において「新たな信頼」を創造する企業を目指す



目標達成に向けてスピード感を持って事業化へ取り組む



グローリーグループ 2020中期経営計画

(2018年度～2020年度)



1) 2017中期経営計画 総括	P. 28	7) 新事業ドメインの概要	P. 41
2) 2020中期経営計画のポイント	P. 33	8) 新たなコア技術の獲得	P. 42
3) 2020中期経営計画 概要	P. 35	9) 経営基盤の強化	P. 43
4) 海外事業戦略	P. 38	10) 投資計画	P. 44
5) 国内事業戦略	P. 39	11) 株主還元	P. 45
6) 機能別戦略	P. 40		

GLORY



2017中期経営計画 総括

(2015年度～2017年度)

業績

売上高 : 2,600億円

経営
指標

ROE : 8%

営業利益: 280億円

海外売上高比率: 50%

[前提為替レート]

・1米ドル 120円、1ユーロ 130円、1英ポンド 175円

基本
方針

長期ビジョン達成に向けた
「顧客起点のモノづくり」による事業成長と収益性向上

基本
戦略

事業戦略

事業規模・領域の拡大による収益性向上

機能戦略

市場ニーズに応える
製品及びサービスの
タイムリーな提供

企業戦略

グループ経営基盤の
強化

分野・
領域

海外事業

国内事業

製品開発

生産・調達

品質保証

グループ・ガバナンス

人事

資本・財務

情報システム

【業績目標・経営指標】

	目標	実績	達成率
売上高 (億円)	2,600	2,273	87%
営業利益 (億円)	280	196	70%
営業利益率	10.8%	8.6%	-2.2pt
海外売上高 比率	50% 以上	47.0%	-3.0pt
ROE	8.0%	5.3%	-2.7pt
為替レート	ドル: 120円 ユーロ: 130円 ポンド: 175円	ドル: 111円 ユーロ: 130円 ポンド: 147円	

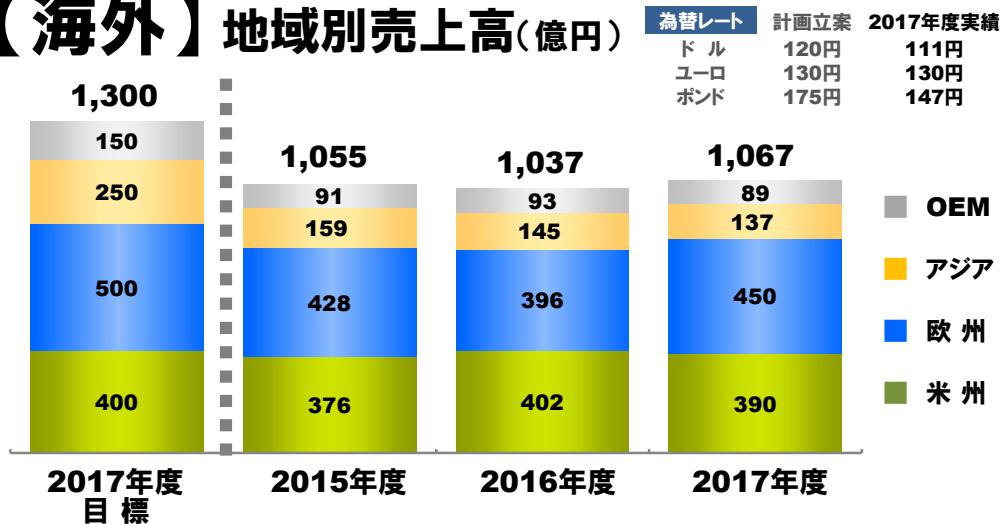
【基本戦略】

事業戦略		[海外事業] [国内事業] [新事業]
海外	・成果	リテール市場における販売拡大
	・課題	新興国での販売拡大
国内	・成果	主要製品の販売拡大
	・課題	新たな製品・ビジネスモデルの創出
新事業	・成果	顔認証システムの事業領域拡大
	・課題	マーケティング及び販売体制の強化
機能戦略		[製品開発] [生産・調達] [品質保証]
・成果		各機能のグローバル体制の強化
・課題		各機能の生産性向上
企業戦略		[グループ体制] [人事] [資本・財務]
・成果		グループ全体でのリスク管理の強化
・課題		事業推進に必要な人材の確保・育成

成長戦略の推進と収益力の強化に取り組んだものの、
業績目標・経営指標とも未達成

セグメント別 総括 (目標対比)

【海外】地域別売上高(億円)



OEM

ATM用ユニットの新製品の販売は拡大したが、従来製品の販売は減少

アジア

紙幣整理機等の販売が低調

【中国】

市場環境等の変化により成長は鈍化

欧州

リテール市場における販売が拡大

米州

主要製品の販売が拡大

【国内】セグメント別売上高(億円)



遊技市場

市場環境の変化により主要製品の販売が減少

流通・交通市場

新規分野への主要製品の販売が拡大

金融市场

主要製品の販売が拡大



2020中期経営計画

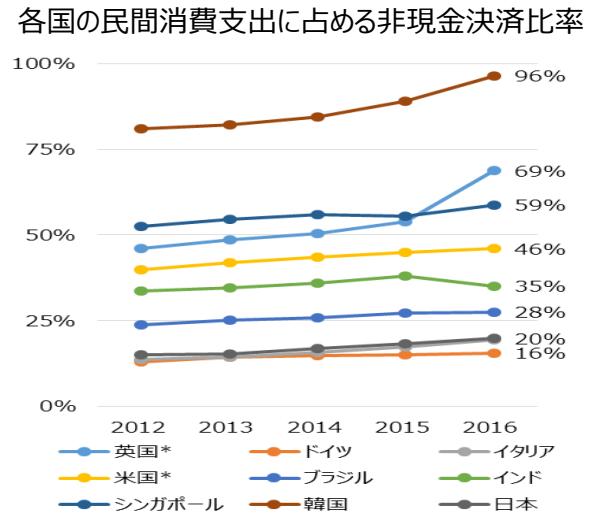
(2018年度～2020年度)

(海外)

マクロ

- ・ドル・ユーロなど主要国の通貨流通枚数は増加基調
 - ・日本と比較して、通貨処理機全体の導入率が依然低い水準
 - ・新興国では通貨流通量、商業施設の増加により商機拡大
- ＜キャッシュレス＞
- ・一部の国を除き、キャッシュレス化は緩やかに進展
 - ・欧米先進国では、すでにクレジットカード等の決済が普及

出典：国際決済銀行・国連統計
(*電子マネーに関するデータなし)

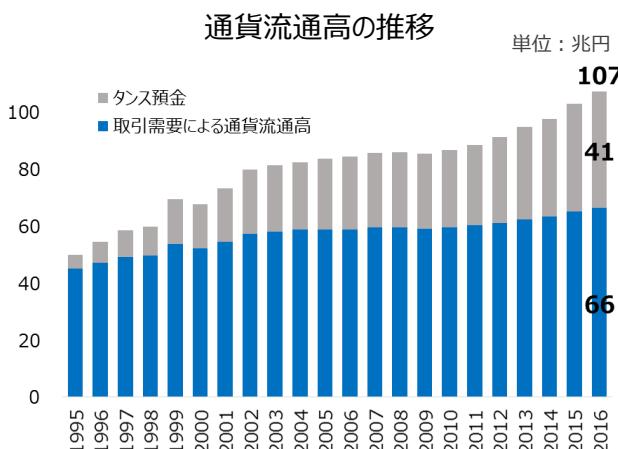


(国内)

マクロ

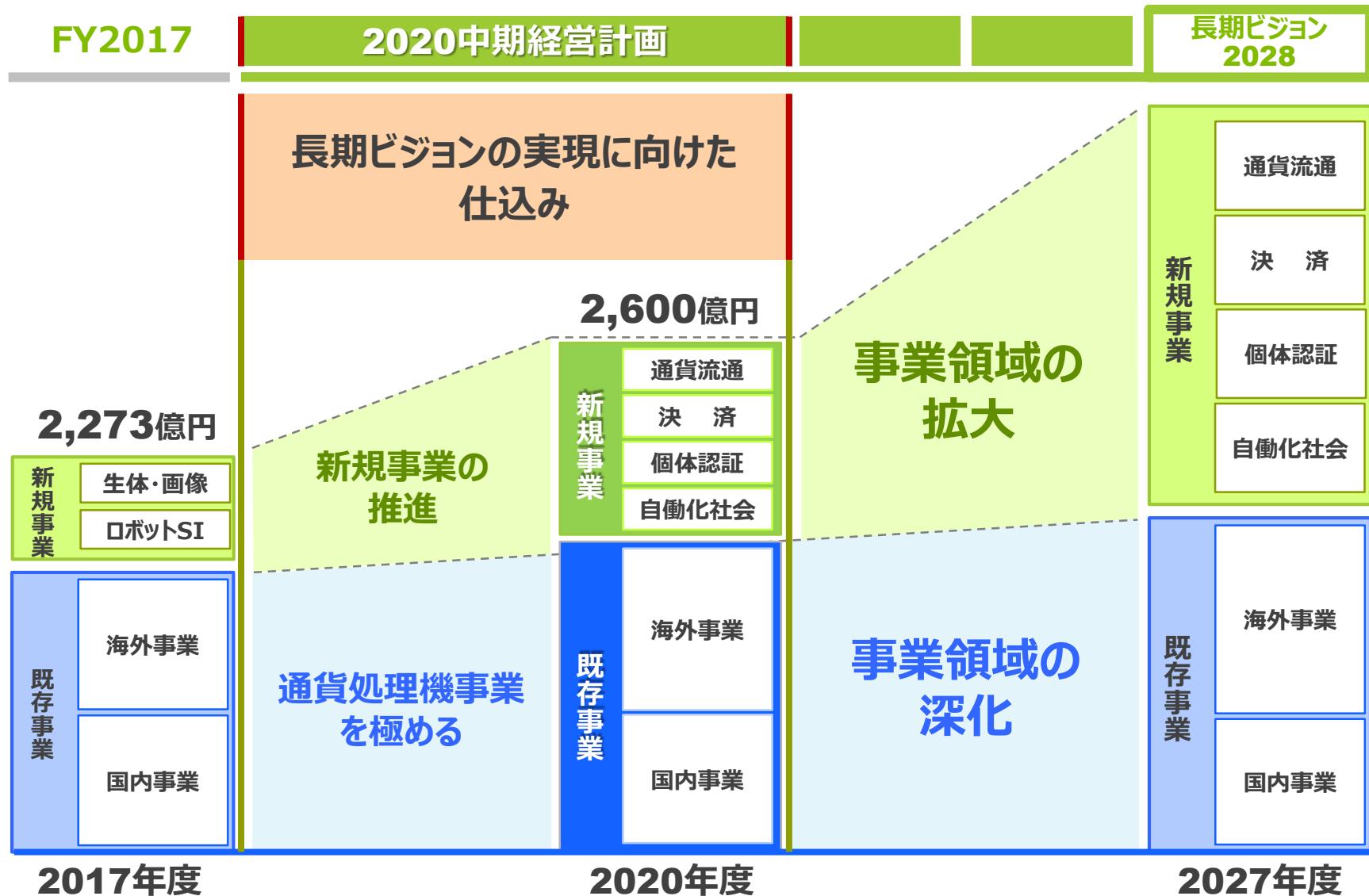
- ・Fintechの拡大・深化による決済手段の変化
 - ・働き方改革の推進による生産性向上に向けた機械化
 - ・通貨流通量の増加
 - ・労働力人口の減少による人手不足
- ＜キャッシュレス＞
- ・2025年までにキャッシュレス決済比率40%を目標に設定
 - ・公共交通機関・小売店など小額決済を中心に電子マネー等の決済が増加

出典：日本銀行. “時系列統計データ（通貨流通高）”. 2018-01-25
* 12月末日の紙幣・硬貨の残高（金額）

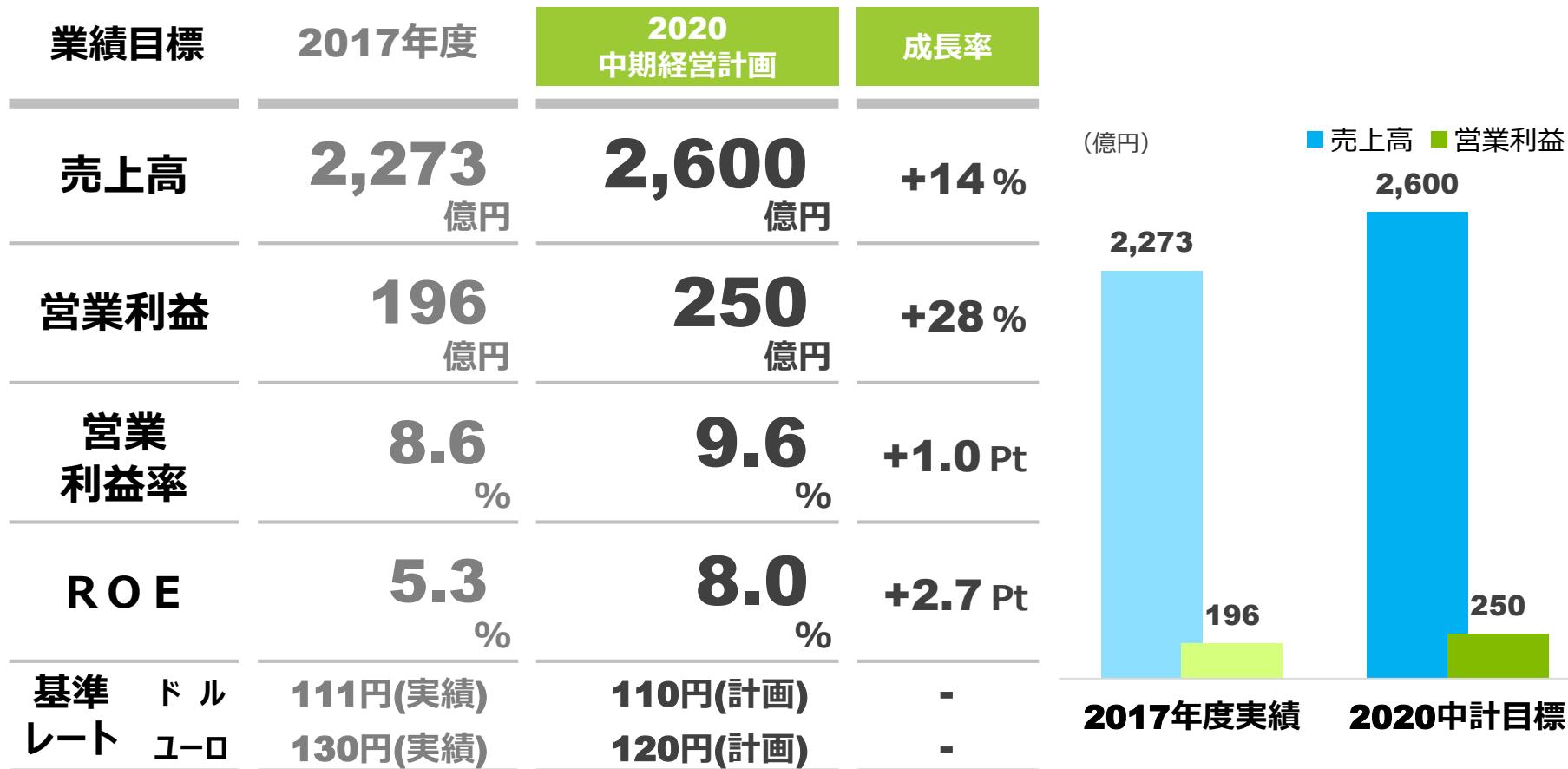


- 1 通貨処理機事業のさらなる深化を図り、販売拡大を目指す
- 2 新事業ドメインの推進と新たなビジネスチャンスを創造する
- 3 既存事業及び新事業への積極的な戦略的投資を実行する

2020中期経営計画の位置づけ



位置づけ 長期ビジョンの実現に向けた仕込み



基本方針

方針1

既存事業

持続可能な事業運営の基盤づくり

- ・海外事業
金融の再成長とリテールの加速
- ・国内事業
ソリューション提案の推進

方針2

新事業

社会課題解決に向けた協働の取り組み強化

- ・新事業ドメインの推進
- ・新たなコア技術の獲得
- ・新事業に対する積極的な経営リソースの配分

方針3

経営基盤

成果に直結する生産性の向上と企業体质の強靭化

- ・働き方改革、業務改革による生産性の向上
- ・オープンイノベーションを実現するための組織風土改革

中期経営計画達成に向けた組織体制

● 海外事業

迅速な意思決定の実現 → カンパニー制へ移行

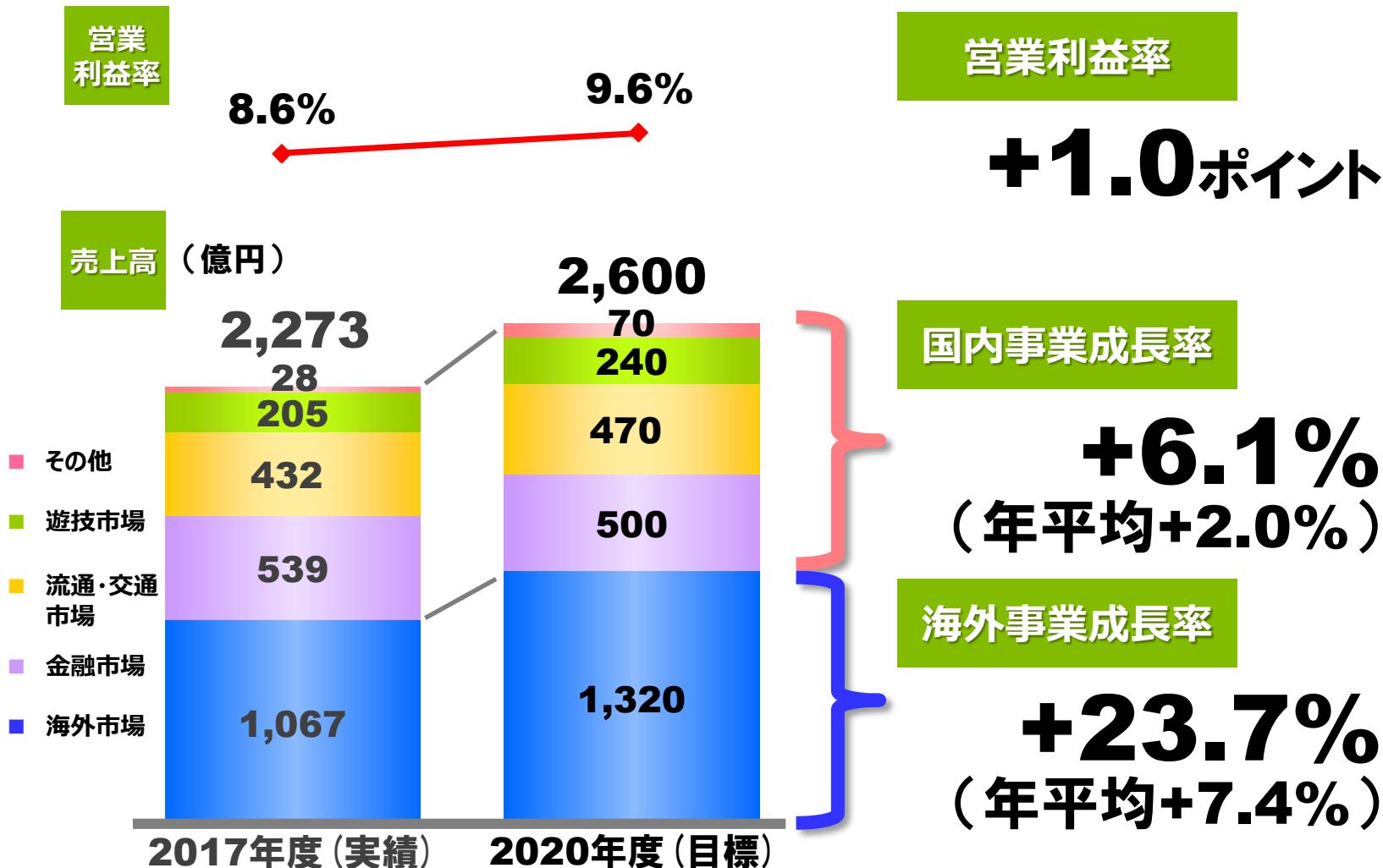
● 国内事業

地域戦略の強化 → 支店運営の見直し

● 新事業

新事業ドメインの推進 → ビジネスイノベーションセンターを新設

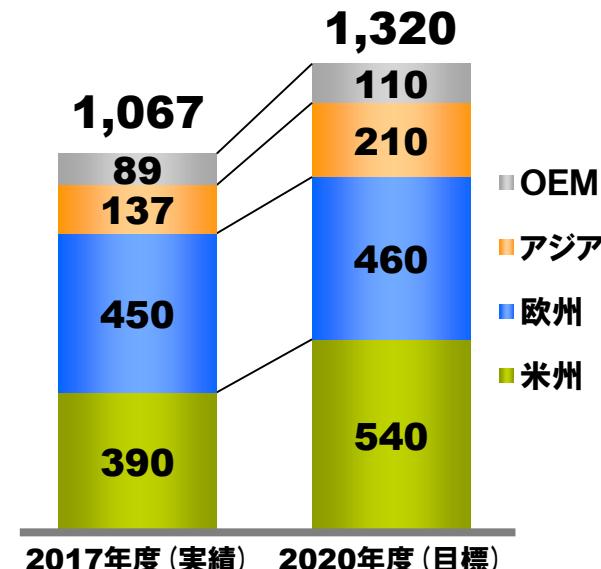
セグメント別業績目標



セルフオペレーション化による金融事業の再成長とリテール事業のさらなる加速

地域別売上高

(単位: 億円)



重点施策

【共通】

- ・戦略的パートナーシップの構築による販売拡大
- ・コスト対応力の強化
- ・テンプレート対応の迅速化
- ・重点地域における直販・直保守体制の強化

【欧米】

- (金融) ※TCRの浸透率向上及びセルフ市場の開拓
 (リテール) バックオフィス市場の拡販強化とフロント市場への参入

【アジア】

- (金融) 主要国での※TCRの販売拡大
 (リテール) 高度成長期待国への投資

【OEM】

- 販売チャネルの強化によるATMユニットの販売拡大

※TCR: 窓口用紙幣入出金機

市場の変化に柔軟に対応したソリューション提案の推進 － 次世代店舗スタイルの実現、非現金事業分野の拡大 –

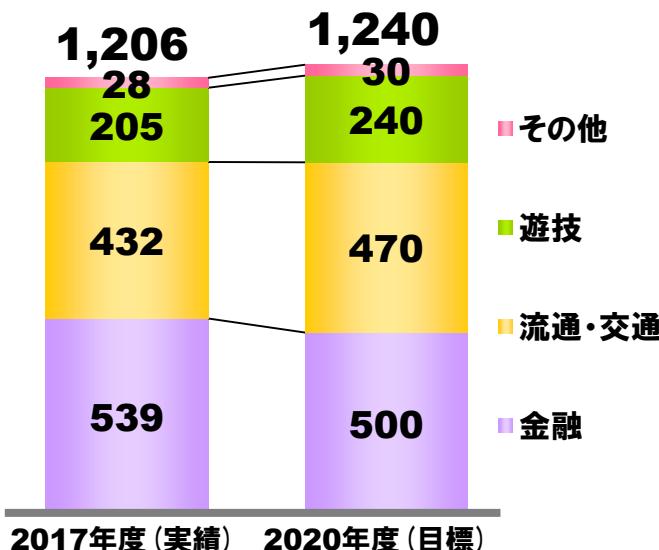
セグメント別売上高

(単位: 億円)

【共通】

重点施策

顧客ニーズに応じた戦略の立案、実行



【金融】

- ・次世代店舗スタイルを実現する製品の販売拡大
- ・主要商品の裾野拡大

【流通・交通】

- ・レジつり銭機のシェア拡大
- ・非現金事業分野の販売拡大
→電子決済、帳票処理、生体認証

【遊技】

ソリューション提案の強化による収益拡大

市場環境の変化、顧客ニーズに応える機能強化の実現及び収益構造の改善



【開発】

- ・コア技術の深化
- ・システム対応力の強化

【品質保証】

海外品質保証体制の充実

【生産】

自働化など生産性の向上による利益の追求

【調達】

グループ一体での購買・検査機能の推進

新事業ドメイン

通貨流通の新たな
管理スキームの
構築

多様な決済手段の
提供

個体認証事業の
確立

自働化社会の
推進

事業概要

新たなキャッシュサイクルの実現



決済手段の多様化の実現に向けた
サービスインフラの強化



オープンイノベーションの推進による
生体認証技術を用いたセキュアなソリューションの提供



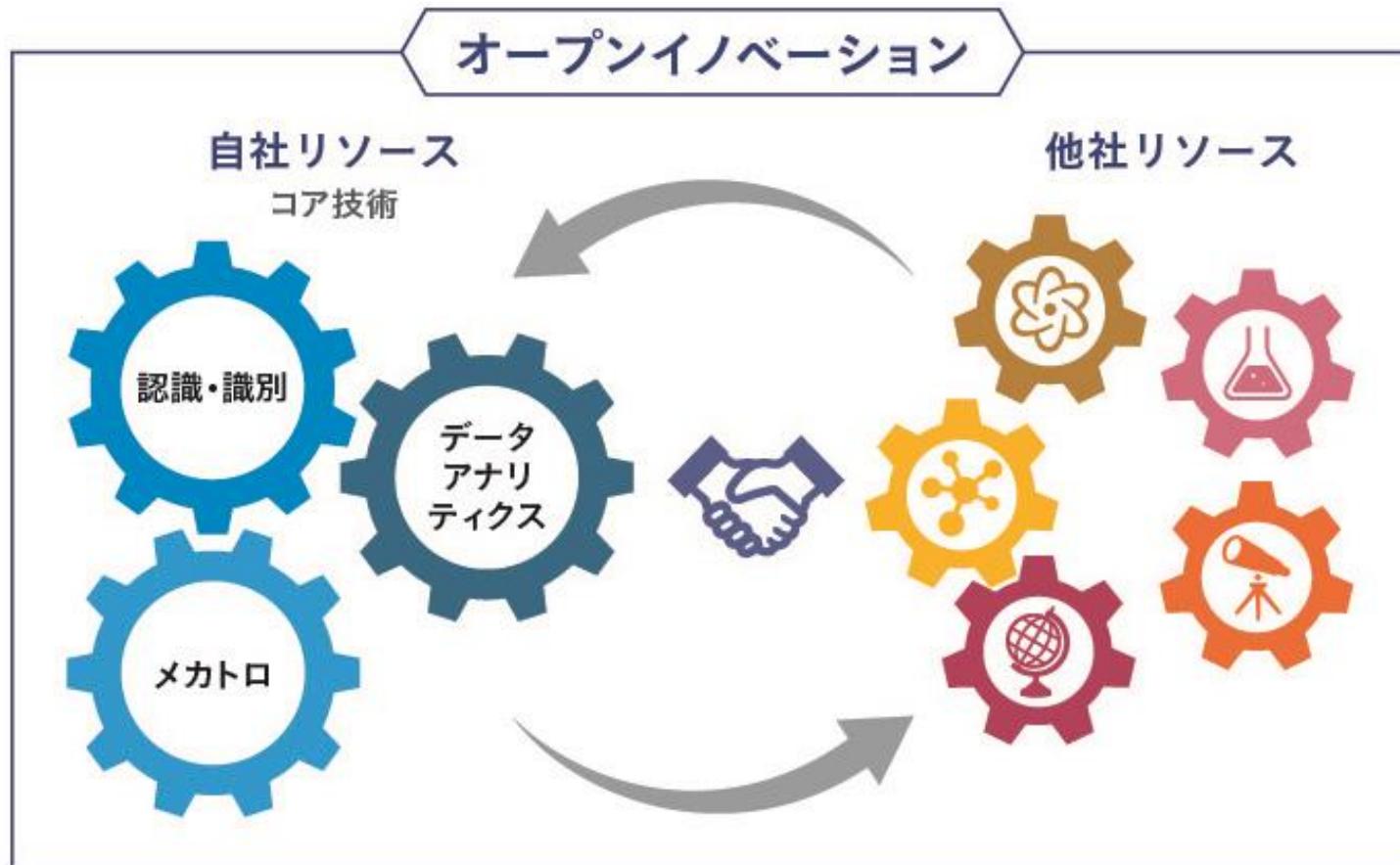
ロボットSIサービスの提供による
ロボットと人の協働環境の実現



新たなコア技術の獲得

方針2 社会課題解決に向けた協働の取り組み強化

- 新たなコア技術として「データアナリティクス技術」を獲得
- オープンイノベーションを推進し、システムエンジニアリング技術を補完・強化



働き方改革、業務改革による生産性の向上

- 多様な働き方の実現
- グループ共通の基幹システム（ERP）の構築
- 働き方改革、業務効率の改善を実現するＩＣＴ環境の構築

オープンイノベーションを実現するための組織風土改革

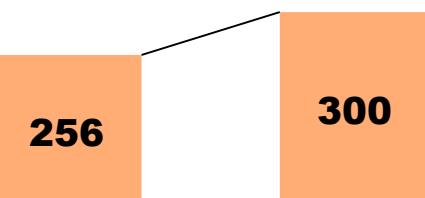
- 新事業を創造する専門チームの立ち上げ
- 事業の成長を支える高度専門人材の獲得と育成
- ダイバーシティの推進

既存事業及び新事業への戦略的投資枠（M & A）

最大投資枠
(3年間累計)
600億円

設備投資計画

設備投資額
(3年間累計)
300億円



2017中期経営計画実績 3年間の設備投資額 **256億円**

2017中期経営計画 実績
2020中期経営計画

開発投資計画

**2020年度
連結売上高
研究開発費比率**

5.5%

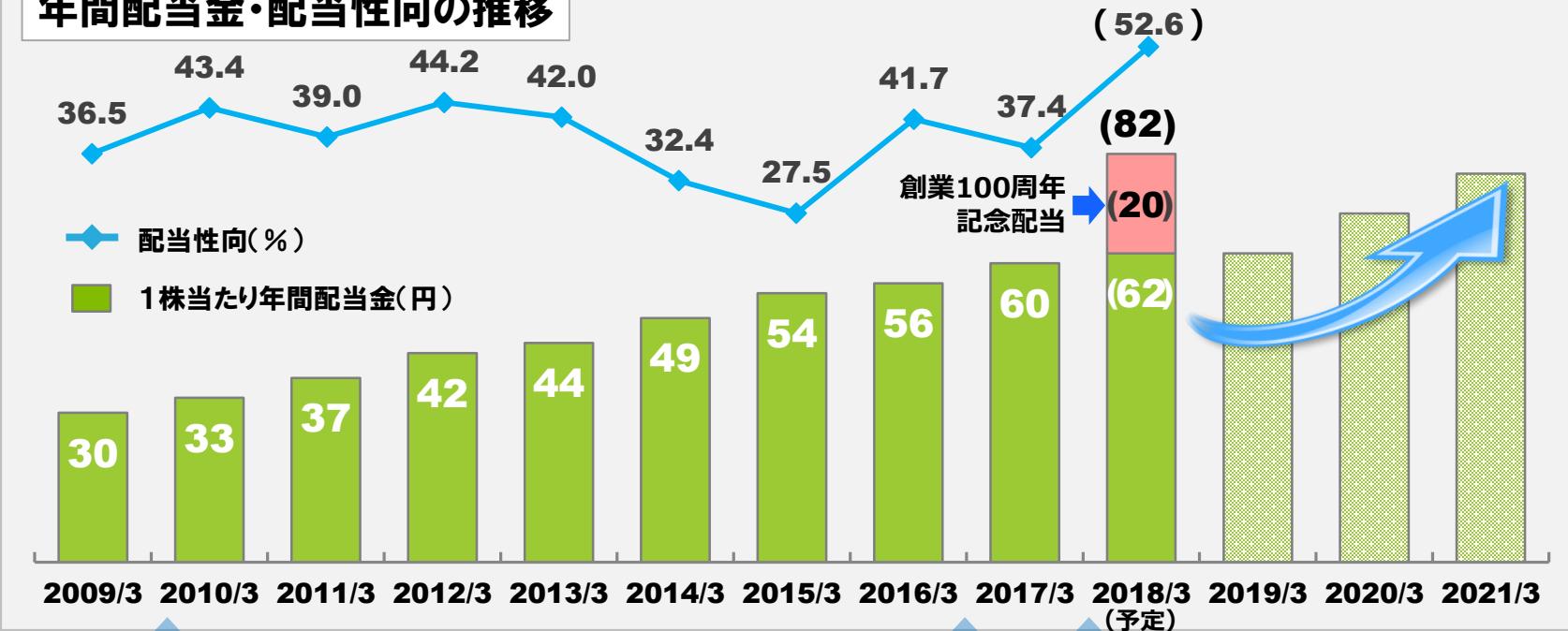


2017中期経営計画 研究開発費 総額 **406億円** (実績)
2020中期経営計画 研究開発費 総額 **430億円** (計画)

2017年度実績
2020年度計画

連結配当性向30%以上を目指し、配当を実施することとしております。

年間配当金・配当性向の推移



自己株式取得の実績

2009/11/16

- ・260万株
- ・5,226百万円

2016/8/5～11/24

- ・177.4万株
- ・5,999百万円

2017/11/8～12/22

- ・143.4万株
- ・5,999百万円

5

2019年3月期 連結業績予想

- 1)2019年3月期 連結業績予想 …P. 47
- 2)セグメント別売上高・営業利益 …P. 48
- 3)海外地域別売上高 …P. 50
- 4)設備投資他 …P. 51

売上高

国内外での販売増により、前期に比べ増収を予想。

営業利益

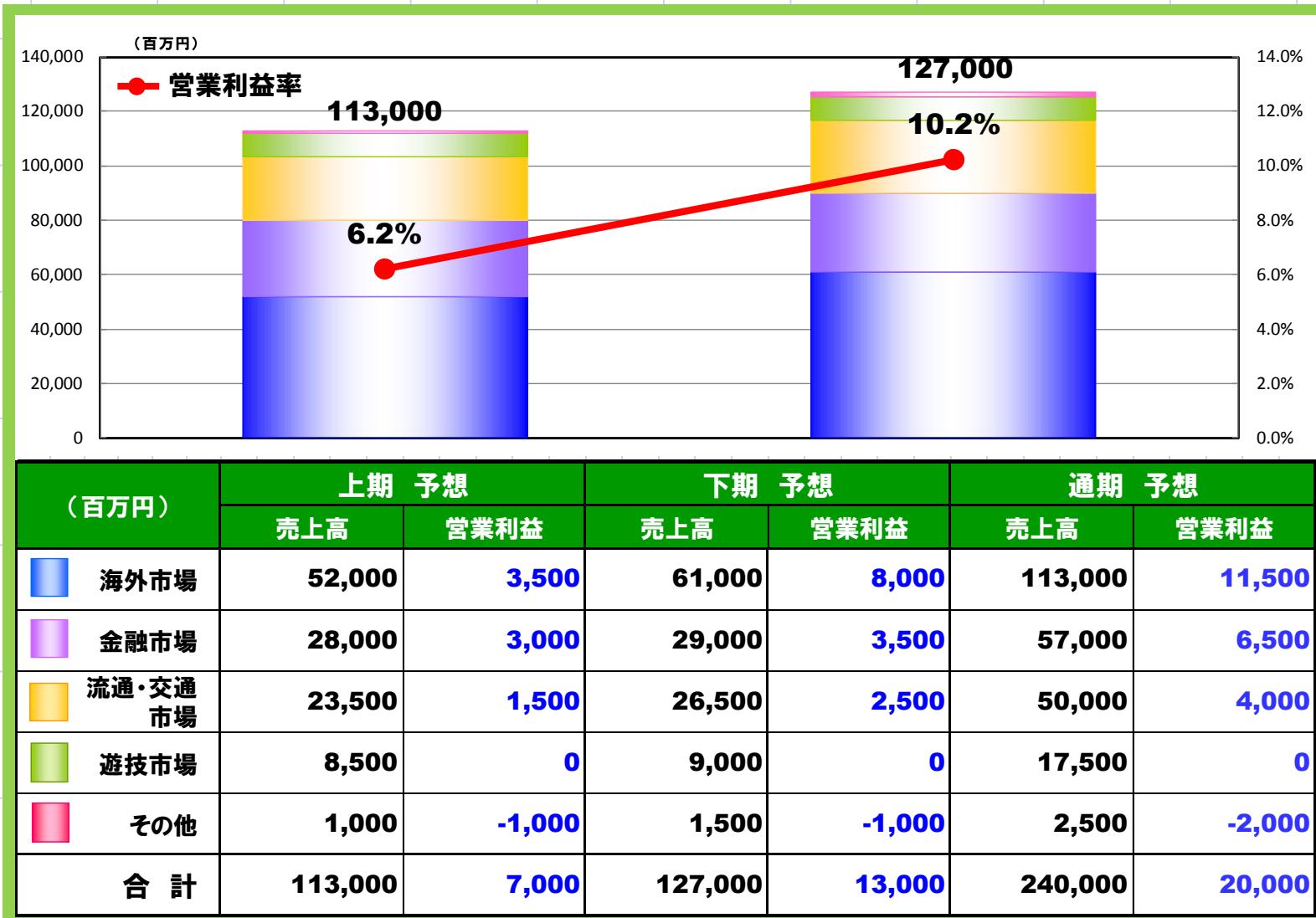
既存事業および新事業への戦略的投資により前期並みを予想。

(百万円)	2018年3月期		2019年3月期		前期比
	通期	売上高比率	通期 予想	売上高比率	
売上高	227,361	100.0%	240,000	100.0%	+5.6%
保守売上高	67,677	29.8%	68,000	28.3%	+0.5%
営業利益	19,615	8.6%	20,000	8.3%	+2.0%
経常利益	17,553	7.7%	20,000	8.3%	+13.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,892	4.4%	12,000	5.0%	+21.3%
為替 レート	ドル	111 円	110 円		
	ユーロ	130 円	130 円		

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	売上高			営業利益		
	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期 予想	前期比	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期 予想	前期比
■ 海外市場	106,758	113,000	+6,242 +5.8 %	11,167	11,500	+333 +3.0 %
■ 金融市場	53,970	57,000	+3,030 +5.6 %	4,043	6,500	+2,457 +60.8 %
■ 流通・交通 市場	43,216	50,000	+6,784 +15.7 %	3,476	4,000	+524 +15.1 %
■ 遊技市場	20,570	17,500	-3,070 -14.9 %	1,331	0	-1,331 - %
■ その他	2,845	2,500	-345 -12.1 %	-403	-2,000	-1,597 - %
合 計	227,361	240,000	+12,639 +5.6 %	19,615	20,000	+385 +2.0 %

セグメント別売上高・営業利益（半期）



海外地域別売上高

(百万円)	2018年3月期	2019年3月期	前期比	現地通貨ベース
	通期	通期 予想		
米州	39,008	44,000	+4,992 +12.8 %	+13.7%
歐州	45,063	45,000	-63 -0.1 %	-0.4%
アジア	13,755	16,000	+2,245 +16.3 %	-
中国	5,912	7,000	+1,088 +18.4 %	+16.7%
OEM	8,930	8,000	-930 -10.4 %	-10.4%
合計	106,758	113,000	+6,242 +5.8 %	- %

(百万円)	2018年3月期	2019年3月期	前期比	半期毎の推移					
	通期	通期 予想		FY16 1H	FY16 2H	FY17 1H	FY17 2H	FY18 1H(予)	FY18 2H(予)
設備投資額	8,706	10,000	+1,294 +14.9 %	3,680	4,363	4,262	4,444	4,000	6,000
減価償却費	9,450	10,000	+550 +5.8 %	4,765	4,704	4,640	4,810	5,000	5,000
研究開発費	14,119	14,000	-119 -0.8 %	6,759	7,206	6,833	7,286	7,000	7,000

＜注意事項＞

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくことなる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。